

国力研究-日本列島を強く豊かに

序章 国際社会の現実と「総合的な国力」強化の必要性  
高市早苗

- 国連安保理と外交
- 核兵器と軍事
- 資源と経済

第一章 外交力

- 「総合的な国力」とは
- 1. 中国に怒るべきときは怒れ  
山上信吾(前駐オーストラリア大使)
  - オーストラリアの「福島瑞穂」
  - 「おまえ黙れ」
  - 商社と永田町のギャップ
  - 怒るべきときに怒れない外務官僚
  - 抗議のレベルを下げた外務省
  - 国会答弁の応用では戦えない
  - 中曽根総理と安倍総理だけ
- 2. 「習近平中国」の実態  
垂秀夫(前駐中国大使)
  - 「習近平中国」と「鄧小平中国」
  - 「習近平一強」とは何か
  - 「なぜソ連共産党は滅んだのか」
  - 中国外交は常にアメリカというプリズムを通じて見る
  - 中国には見えない日本
  - 中国共産党イコール中国ではない

第二章 情報力

- 3. インテリジェンスをいかに強化していくか  
江崎道朗(麗澤大学客員教授)
  - インテリジェンスの四類型
  - 戦後日本のインテリジェンス機関
  - 情報が回らない、上がらない、そして外部に漏れる
  - 国家安全保障戦略とインテリジェンスの連動
  - 台湾有事の事態認定を支えるインテリジェンスをどうするのか
  - 中央情報組織の必要性
  - 中央情報機関に必要な四つの権限
  - 官邸が要求すべき情報
- 4. スパイ防止法や通信傍受等の法整備が必要  
小谷賢(日本大学危機管理学部教授)
  - サイバー空間はグレーゾーンが広い
  - ロシアのディープ・フェイク
  - ウ戦争での米英の偽情報対策
  - 日本初の偽情報戦
  - 経済安全保障のための情報
  - スパイ防止法が必要
- 5. 非対称兵器と平和ボケ  
山口芳裕(杏林大学医学部教授)
  - 非対称兵器とは何か
  - テロリストにとって理想的な兵器
  - CBRNEに関する最近の動向
  - 中国冷凍餃子事件はテロ
  - 「白い粉」は化学兵器の芸術品
  - 厚労省の平和ボケ

第三章 防衛力

- 6. 自衛隊の実力と反撃能力  
尾上定正(元空将)
  - 自衛隊の実力
  - 軍事力はスピードが重要に
  - 日米の統合運用レベル
  - 自衛隊の三つの課題
  - 反撃能力保有が必要なこと
- 7. 台湾有事と日本の役割  
兼原信克(元国家安全保障局次長)
  - 中国は弱いと思ったらやる
  - 台湾の運命
  - 台湾有事と日本
  - 誰も考えていないことがある

第四章 経済力

- 8. 国力の基礎となる経済力  
本田悦朗(元内閣官房参与)
  - 富国強兵の経済
  - デフレは国力を毀損する
  - 円安と国力は関係ない
  - 財政は世界潮流が変わった「健全な財政」とは何か

第五章 技術力

- 9. 日本の経済戦略  
高圧経済と統合運用で政策先進国を目指せ  
若田部昌澄(早稲田大学政治経済学術院教授)
  - 経済成長こそが最大の財源
  - バランスが重要
- 10. 明治の「殖産興業」に学べ  
加藤康子(産業遺産情報センター長)
  - 「鉄は工業の母、護国の基礎」
  - 自動車産業は基幹産業
  - EV推進は日本の雇用に影響する
  - EVシフトは泥船
  - EV車の真実
  - 「俺たちはエンジンを守りたい」

結びの章 「人材力」の強化に向けて  
高市早苗

- 出る杭を伸ばす
- 産業人材について
- 研究人材について
- 国と社会を守る「人材力」について
- 行政機関の人材力

第六章 「国力」の全要素を包含する宇宙政策  
高市早苗

- 宇宙システムと「防衛力」「情報力」
- 宇宙システムと「技術力」「経済力」
- 宇宙の課題解決と「外交力」「経済力」
- 強い宇宙開発利用に必要な「人材力」

終わりに